

大田原中学校区小中一貫教育グランドデザイン

大田原中学校区教育目標

「夢や希望に向かい たくましく生きる子ども」

基本方針

本校区は、西原小・紫塚小・大田原中の2小1中からなり、小小・小中連携による児童生徒の活動の工夫や教職員交流による教育活動の研修充実に努めている。今後も、目指す児童生徒像を共有し、教職員の相互理解を深め、9年間の系統的教育システムを構築していく。また、児童生徒に対し小中連続した支援に取り組み、「学ぶ喜びを感じることのできる学校」「心身ともに健康で人間性豊かな児童生徒を育成する学校」「児童生徒や保護者から信頼される魅力ある学校」づくりを目指す。

大田原中学校



知性の涵養 体力の充実 品格の育成

小中一貫教育のねらい

◇小中の円滑な接続
教育課程上の接続、連続的支援により中1ギャップの解消と、より効果的な教育の実現を図る。
◇教職員の意識改革
校区三校の教職員が協力して9年間の義務教育に関わる体制を確立する。(※教職員の交流と協働、子どもたちの交流)
◇学校と地域との連携・協働
地域の教育的資源を有効に生かし、子どもたちに適した教育環境の整備・充実を図る。

【目指す児童・生徒像】

自ら進んで学ぶ子ども
礼儀正しく思いやりのある子ども
心身ともにたくましい子ども

目指す教師像

夢や感動を子どもに与えられる教師
子どもの力を最大限に引き出す教師

西原小学校



紫塚小学校



よく考え進んで学ぶ子 明るく思いやりのある子 健康でたくましい子

考えて学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

9年間を通した系統的な教育活動の推進

区分	確かな学力 (重点項目) ○自ら進んで学ぶ子ども			豊かな心 ○礼儀正しく思いやりのある子ども			健やかな体 ○心身ともにたくましい子ども		
	【学習態度】	【家庭学習】	【学び合い】	【あいさつ】	【規範意識】	【自己有用感】	【運動習慣】	【生活習慣】	【心の安定】
Ⅲ期 (後期) 8・9年生 中2～中3 発展・充実期	将来の夢に向かって、計画的に学習を進めることができる。	目標をもつて、計画的に家庭学習を行うことができる。	伝え合うことで、個人や集団の考えを深めることができる。	明るい学校・地域づくりを目指して場に応じたあいさつができる。	学校や社会のきまりを守り、礼儀正しく行動しようとする。	自分の役割を自覚し、地域のために貢献することができる。	積極的に運動を取り入れ、体力の増進を意識した生活を送ることができる。	健康な体を維持するためにバランスのよい食事と睡眠時間の確保を生活することができる。	自分に合ったストレスの対処法を考えることができる。
Ⅱ期 (中期) 5～7年生 小5～中1 活用・定着期	学習の工夫し、積極的に学習に取り組むことができる。	家庭学習に自主的に取り組むことができる。	対話を通して自分の考えを表現することができる。	明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる。	学校や社会のきまりを守ろうとする。	友だちや家族のために進んで役割を果たせる。	運動活動に積極的に参加し運動に親しむことができる。	望ましい生活習慣を意識した生活ができる。	他者を思いやりながら学校生活を送ることができる。
Ⅰ期 (前期) 1～4年生 小1～小4 基礎期	きちんと相手を見て話を聞くことができる。	家庭学習の習慣を身につけることができる。	お互いの考えの共通点と相違点を見つけてながら話を聞くことができる。	明るく元気なあいさつができる。	学級や学校のきまりを守る。	与えられた役割を果たせる。	休み時間には元気に外遊びができる。	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを守ることができる。	友だちと仲良く、学校生活を送ることができる。

大田原市小中一貫教育目標
9年間を見通して目指す子供像を共有し、子供たちの豊かな人間性・確かな学力・コミュニケーション力・社会適応力の育成と向上を図る。
【9年間の教育目標明確化・教職員の連携・児童生徒の交流活動・情報の共有化】

